

## 第 13 回（9 月）地方行財政WGにおける重点的ヒアリング事項

9 月のWGにおいては、次の事項について重点的にヒアリングを行う。

- ①工程表の平成 28 年度実施予定部分の進捗状況
  - ・実施済みのものについては、その概要
  - ・未実施のものについては、検討状況及び今後のスケジュール
- ②工程表の平成 29 年度実施予定部分の準備状況
- ③K P I の数値確認、評価
- ④K P I の具体的指標の未確定分については、明確化
- ⑤骨太 2016、P F における議論等を踏まえた新たな論点

○ 9 月 23 日 第 13 回WG （※以下、マル囲み数字は工程表の番号）

### 地方財政

- ②先進的自治体の経費水準の基準財政需要額算定への反映等（総務省、文部科学省）
  - ・トップランナー方式の 28 年度算定への反映状況（対象業務、経費水準の算出方法、小規模団体への配慮、見直しに伴う影響額 等）
  - ・残された業務の検討状況（関係省庁との協議状況、先進団体の実態把握の状況等）
  - ・トップランナー方式に係る趣旨、経費の算定基準、今後のスケジュールの考え方等のホームページでの公表状況
- ③地方財政制度の改革に係る経済効果の検証（内閣府）
  - ・民間委託等の地方自治体の取組が地域経済に影響を与えるメカニズムの解明
  - ・自治体の頑張りの度合いを明確化するための、地方財政の各種データに関する学識者の協力を得ながら統計的手法を用いた分析等
- ④公営企業、第三セクター等の経営の改革[見える化]（総務省）
  - ・以下の「見える化」の進捗状況
    - ▶ 公営企業会計の適用拡大
    - ▶ 「経営比較分析表」の公表分野の拡大や廃止・民営化等の検討に資する指標の検討状況
    - ▶ 公営企業の給水原価等を含めた経営状況の見える化の進捗状況
- ④公営企業、第三セクター等の経営の改革[抜本改革]（総務省）
  - ・抜本改革に向けた優良事例収集、研究会発足等の進捗状況
  - ・公営企業の各種事業の広域化の推進状況（特に、水道事業、下水道事業、病院事業）

- ④公営企業、第三セクター等の経営の改革[経営戦略]（総務省）
  - ・経営戦略策定状況の「見える化」の進捗状況
  
- ④公営企業、第三セクター等の経営の改革[3セク]（総務省）
  - ・改革の先進事例集の作成の進捗状況及び第3セクター等の財政的リスク等の調査・公表等の進捗状況
  
- ⑥自治体の行政コストやインフラの保有・維持管理情報等の「見える化」の徹底、誰もが活用できる形での情報開示[地方財政の全面的な「見える化」]（総務省・内閣府）
  - ・以下に例示する「見える化」の進捗状況
    - ▶ 住民一人当たり行政コストの性質別・目的別の網羅的な（財政分析も含めた）「見える化」
    - ▶ 予算・決算の対比に関する情報開示
    - ▶ ユーザーが様々な条件を設定して自治体間比較ができるデータベースの早期実現に向けた進捗状況
  - ・都道府県別の住民一人当たり行政コストとその財源内訳の分析
  
- ⑥自治体の行政コストやインフラの保有・維持管理情報等の「見える化」の徹底、誰もが活用できる形での情報開示[公共施設等総合管理計画]（総務省・関係省庁）
  - ・以下に例示する「見える化」の進捗状況
    - ▶ 計画の策定状況（策定団体数及び集約化・複合化等の方針の盛り込み状況）
    - ▶ 集約化・複合化等による成果事例の収集、成果の把握手法の検討の進捗状況
    - ▶ 住民一人当たりの維持管理に要する経費等を地方公共団体間で比較可能な形で示す「見える化」を着実に推進する取組内容及び都道府県の役割
  
- ⑥自治体の行政コストやインフラの保有・維持管理情報等の「見える化」の徹底、誰もが活用できる形での情報開示[地方公会計]（総務省）
  - ・地方公会計整備の進捗状況
  
- ⑥自治体の行政コストやインフラの保有・維持管理情報等の「見える化」の徹底、誰もが活用できる形での情報開示[公営企業（前掲）・地方交付税の「見える化」]（総務省）
  - ・地方交付税の各自治体への配分の考え方・内容の詳細、経年変化（市町村分も含め誰もが活用できる形でホームページに公開）